

水産業のさかんな地域

1 目 きそ | 知識・技能のたしかめ 答え

1 2 3 4 めやす 10分

1 水産業の仕事について答えましょう。

(1) 海で魚や貝をとる仕事を①、いけすなどで育てて増やす仕事を②といいます。

① ぎょぎょう 漁業

② ようしょくぎょう 養殖業

(2) とった魚は魚市場で、何によって値段が決まりますか。

ア せり イ じゃんけん ウ くじ引き

答え ア

2 漁業の種類について答えましょう。

(1) 岸に近い海で、日帰りや小さな船で行う漁業を①、岸から少しはなれた海で数日かけて行う漁業を②といいます。

① えん 沿岸漁業

② 沖合漁業

(2) 遠くの海まで行き、長い日数をかけて行う漁業はどれですか。

ア えん 沿岸漁業 イ 沖合漁業 ウ 遠洋漁業

答え ウ

3 福岡県の水産業について答えましょう。

(1) 福岡県には3つの海があります。北の玄界灘に面した①、南西の干潟が多い②、東の豊前海です。

① ちくぜんかい 筑前海

② ありあけかい 有明海

(2) のりの養殖でとくに知られている、福岡県の海はどれですか。

ア ちくぜんかい 筑前海 イ ありあけかい 有明海 ウ ぶぜんかい 豊前海

答え イ

考え方

大問1 海でとる仕事が漁業、育てて増やす仕事が養殖業です。値段は魚市場のせりで決まります。

大問2・3 えん 沿岸・沖合・遠洋の3種と、福岡県の3つの海（有明海はのり養殖で有名）を確認しました。

ちい き
水産業のさかなな地域出典・データ
(先生向け)

2まい目 よみとる

実際の資料から読み取る

答え

1

2

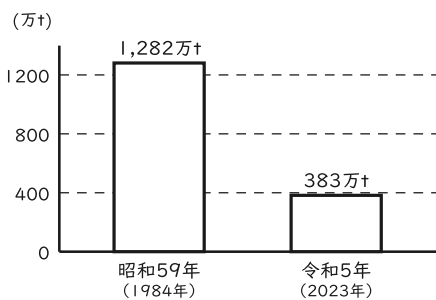
3

4

めやす 15分

1 下のグラフは、全国の漁業・養殖業の生産量の変化です。出典は水産庁「ひとくちメモ」(もとは農林水産省の統計)です。

全国の漁業・養殖業生産量 出典：水産庁



(1) 昭和59年の生産量は①万t、令和5年は②万tで、この間におよそ③万tへりました。

① 1,282

② 383

③ 899

2 福岡県の水産物の生産量について、表を見て答えましょう。

福岡県の水産物の生産量 (令和6年) 出典：農林水産省「令和6年漁業・養殖業生産統計」

水産物	福岡県	全国	全国順位
まだい (とる漁業)	1,412 t	15,454 t	3位
のり類 (養殖業)	27,443 t	186,896 t	3位

(1) 福岡県のまだいの生産量は、全国で何位ですか。

ア 1位 イ 3位 ウ 8位

答え

イ

(2) 福岡県で生産量が多いのは、まだいとりのり類のうち①のほうです。

① のり類

考え方

大問1 昭和59年がピークで1,282万t、令和5年は383万t。差は約899万tです。大問2 まだい・のり類とも福岡県は全国3位。生産量が多いのはのり類です。

水産業のさかんな地域

出典・データ
(先生向け)



農林水産省「福岡県の農林水産業の概要」

3まい目 かんがえる

筋道を立てて考える

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 ゆいさんは、「なぜ有明海でのりの養殖がさかんなのだろう」と考え、資料を集めました。

資料 有明海のようす（出典：佐賀市「有明海の風景」）

有明海の特ちょう
潮の満ち引きの差が最大6mで、日本一大きい
広い干潟が広がり、栄養ゆたかな水が流れこむ

(1) 2まい目の表で、福岡県ののり（くろのり）は全国3位でした。資料から考えて、有明海でのりの養殖がさかんなわけは何ですか。

ア 潮の満ち引きの差が大きく、栄養ゆたかな水があるから

イ 海が浅くて、船を出せないから ウ 魚がまったくとれない海だから

答え ア

(2) まとめ：有明海は①の差が日本一大きく、栄養ゆたかな水にもめぐまれている。だから、②がさかんである。

① 潮の満ち引き

② のりの養殖

2 そらさんが、福岡県の水産物の生産量について、まだいとのり類（のり類）をくらべました。

資料 福岡県の水産物の生産量（令和6年）

水産物	生産量
まだい（とる漁業）	1,412 t
のり類（養殖業）	27,443 t

(1) 表から考えて、福岡県の水産業についていえることは何ですか。

ア とる漁業（まだい）の方が生産量が多い イ 養殖業（のり）の方が生産量が多い

ウ まだいとのりの生産量はほぼ同じである

答え イ

水産業のさかんな地域

出典・データ
(先生向け)

水産庁「ひとくちメモ（漁業・養殖業生産量の推移）」

農林水産省「福岡県の農林水産業の概要」

4まい目 あらわす

資料を根拠にして書く

答え

1

2

3

4

めやす 15分

I かなたさんが、下の資料を見て言いました。

資料 全国の漁業・養殖業生産量 出典：水産庁

年	生産量
昭和59年（1984年）	1,282万t
令和5年（2023年）	383万t

(1) かなたさんは「もう魚は食べられない」と言いました。資料だけでは分からない部分はどれですか。

- ☒ ア 「もう食べられない」の部分 ☐ イ 「減っている」の部分
☐ ウ 合っていない部分はない

答え

ア

(2) 資料の数字を使って、正しく言えることに直して書きましょう。

つかうことば

昭和59年

令和5年

（れい）生産量は昭和59年の1,282万tから令和5年には383万tまで減ったが、食べられなくなるとはいえない。

2 福岡県の水産業の特色を、資料をもとにせつめいします。

資料 福岡県ののり類と海のようす

区分	生産量
福岡県	27,443t（全国3位）
全国計	186,896t
有明海	干潟が広く、のりの養殖に向いている

福岡県の水産業の特色を、資料のことばを使って「～ので、～。」の形でせつめいしましょう。

つかうことば

有明海

のり

（れい）福岡県には有明海という干潟の広い海があるので、のり（くろのり）の養殖が全国3位までさかんになっている。